

## 第2部

### 人気&定番! トップ・アーティストの市販モデルに迫る!

Syuのエドワーズ・モデル試奏に続いては、トップ・ミュージシャンのアーティスト・モデルの中から、本誌読者注目のモデルや定番の楽器をチェックしてみた! はたして、そのサウンドや弾き心地は? その魅力を探っていこう!

カラー

## KG-PRIME Red Flame

¥600,000+税



〈仕様〉 ●ボディ(ウイング): アッシュ・トップ+マホガニー・バック ●ネック: ハード・メイプル、スルーネック ●指板: ハード・メイプル ●ピックアップ: セイモア・ダンカン SH-2 Jazz(フロント)、セイモア・ダンカン TB-14b Custom 5(リア) ●コントロール: マスター・ヴォリューム(プル/タップ)、ピックアップ・セレクター ●ブリッジ: フロイド・ローズ・オリジナル ●カラー: レッド・フレイム、ブルー・フレイム

## 高崎 晃

(ラウドネス)

### ファイアー・ デザインが印象的な KG-PRIME

ご存知、高崎 晃のシグネチャーモデル、KG-PRIME。現在は、KG-PRIME Glory Lineをはじめ、多くのモデルがラインナップしている。今回は、その中からKG-PRIME Red FlameとKG-PRIME Signature 2005 versionの2本を取り上げてみた。まずは、ファイアー・パターンが印象的なKG-PRIME Red Flameから弾いてみよう。



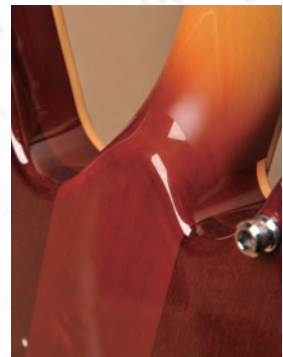
まずは、スルーネック・ジョイントを採用したKG-PRIME Red Flameだ。

音を出してみると、中低域がためて張りのあることが特徴だと感じられた。これは、メイプル材を使ったネックと、アッシュ・トップ+マホガニー・バックを採用したボディ(ウイング)によるところが大きいのだろう。また、アンプを歪ませて弾いた時の力強さや重厚感はかなりなもの。そこにメイプル・ネックならではのシャキッとした音もうまくミックスされていて、高音減を弾いた時の響きや歪ませた状態での各弦の音の分離もいいのだ。また、マスター・ヴォリュームを引き上げることで、フロントとリアの両方をシングルコイルにすることができ、クリーン・サウンドでのシャリーンとした音も出せるし、アンプを歪ませればハードなシングルコイル・サウンドも味わえた。

そして、ネック・グリップはロー・ポジションはVシェイプ、ハイ・ポジションは薄めのUシェイプに仕上げ



▲ピックアップはセイモア・ダンカンのSH-2とTB-14を搭載。エスカツションが木製というのも特徴のひとつだ



▲ヒール部の加工も美しい。また、ウイング部がアッシュ・トップ+マホガニー・バックになっているのがわかる

られていて、右ヒジが当たる部分が斜めにカットされたボディ・トップの加工も含めて、他のKG-PRIMEと同様で弾きやすい。

シェイプも音も含めてメタル・ギターなのだが、トーンは幅広く演奏性も高いので、じつは幅広いジャンルに対応できる万能なギターではないだろうか。



▲ツマミはヴォリュームのみとシングルだが、プルすることでピックアップをコイル・タップできる



▲ブリッジはフロイド・ローズ・オリジナルを採用している